

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2021 年 10 月号

NO. 333

TOPICS

9 月になれば

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 副理事長 上岡典彦

MESSAGE P4

「広報・PR実務講座 2021」後期開講のご案内

ATTENTION P5

広報・PRスキルアップ実践講座①「コーポレート・コミュニケーション」を開講

ATTENTION P8

「統合コミュニケーション集中講座」を開講

ATTENTION P9

「広報・PR入門Web講座(秋期)」を開講

ATTENTION P10

「広報・PRチームリーダー講座」を初開講

ATTENTION P11

【再掲】「PRアワードグランプリ 2021」エントリー受付中！

ATTENTION P12

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号 六本木ヒルズノースタワー

5F 電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F
電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 畔柳 一典

10月号目次

10月～11月のスケジュール	—	2
MESSAGE(メッセージ) 9月になれば	—	4
ATTENTION(お知らせ) 「広報・PR実務講座2021」後期開講のご案内	—	5
“ 広報・PRスキルアップ実践講座①「コーポレート・コミュニケーション」開講	—	8
“ 「統合コミュニケーション集中講座」を開講	—	9
“ 「広報・PR入門Web講座(秋期)」を開講	—	10
“ 「広報・PRチームリーダー講座」を初開講	—	11
“ 【再掲】「PRアワードグランプリ 2021」エントリー受付中！	—	12
BULLETIN(活動報告) 第37回広報ゼミ「最強広報組織のつくりかた」第二弾開催報告(会員限定)	—	13
REPORT(講演レポート) 第215回定例研究会(正会員・個人会員会員限定)	—	14
協会掲載記事 PRSJ in Media	—	15

10月～11月スケジュール

【オンライン】 広報・PRスキルアップ実践講座 ① 「コーポレート・コミュニケーション」	日 時 : 10月12日(火)～11月29日(月) テーマ : サステナビリティ経営を支える広報活動 ～パーパス(企業目的)の実現に寄与する BASF の取り組み～ 講 師 : BASF ジャパン(株) コミュニケーションズ部 部長 藤本朋子氏
【オンライン】 第 217 回定例研究会	日 時 : 10月21日(木)14:00～15:20 テーマ : 『日経ビジネス』がめざす新時代のビジネスメディア 講 師 : 日経BP 「日経ビジネス」編集長 磯貝高行氏
【オンライン】 広報・PR入門Web講座(秋期) 「イチ」から広報・PRの基本を学ぶ 新任者向け Web 講	日 時 : 10月21日(木)～11月30日(火)予定
【オンライン】 統合コミュニケーション集中講	日 時 : 10月開催予定
【オンライン】 広報・PRチームリーダー講座(仮称)	日 時 : 10月開催予定

10月～11月の理事会・委員会・ 部会スケジュール

定例理事会	(10 月度)	日 時	: 10 月 7 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: オンライン開催	
	(11 月度)	日 時	: 11 月 11 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: オンライン開催	
教育委員会	(10 月度)	日 時	: 10 月 18 日 (木)	13:30～14:30
		会 場	: オンライン開催	
資格委員会	(10 月度)	日 時	: 10 月 28 日 (木)	12:00～13:00
		会 場	: オンライン開催	
国際・交流委員会	(10 月度)	日 時	: 10 月 13 日 (水)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	
広報委員会	(10 月度)	日 時	: 10 月 28 日 (水)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	
顕彰委員会	(10 月度)	日 時	: 10 月 21 日 (木)	15:00～16:00
		会 場	: オンライン開催	
企業部会幹事会	(10 月度)	日 時	: 10 月 6 日 (水)	17:00～18:00
		会 場	: オンライン開催	
PR業部会幹事会	(10 月度)	日 時	: 10 月 19 日 (火)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	

9月になれば

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

副理事長 上岡 典彦

今から20年ほど前、米国コロラド州のボルダーに滞在したことがある。

ボルダーは州中北部に位置する標高1,655メートル、人口10万人ほどの都市だ。

コロラド大のキャンパスをはじめ、米国国立標準技術研究所（NIST）や米国大気研究センター（NCAR）、米国立海洋大気庁（NOAA、今注目の気候変動研究も行われている）などの多くの研究機関があるため、世界中の研究者が訪れるサイエンス都市としても有名だ。ブルームバーグ頭脳集中指数（こんな統計があります）で全米1位になったこともある、いわゆる民度が非常に高い街で、当時は国内の避暑地としても人気だったと記憶している。（余談だがこのような平和な美しい街で起こった「ジョンベネちゃん殺害事件」は大きなニュースになった。ある年代以上のみ知る事件ですね）

ボルダーにはもうひとつの顔があり、その標高ゆえ陸上選手の高地トレーニングのメッカとして知られている（米国のアルパカーキー、スイスのサンモリッツ、中国の昆明なども有名）。私が訪れたのも、当時勤めていた企業の陸上部選手の取材対応だった。その選手はオリンピックに3度出場した女性ランナーで、2000年のシドニーオリンピックを控え、その合宿の様子をNHKをはじめとしたメディアが現地取材してくれたのだった。（これまた余談だが、取材してくれたNHKのクルーとは今も親しくお付き合いさせていただいている。彼らから取材時に大事にすべきことをいくつも教わった。PRパーソンはメディアに育てられると実感している）

その女性ランナーは早朝と夕方の2回走り、日中は筋トレや休養に充てていた。早朝ランニング取材のため必然的に早起きになり、取材後の朝の空気のなか私もランニングのまねごとを始めた。季節は初夏、ホテルの近くには花々が咲き乱れる小川沿いの小径が続き、小径沿いには野生のプレーリードックが顔を出す。そんな場所を走っている時、ある不思議な感覚に捉われた。景色の中から音楽が聞こえてくるのだ。少し大袈裟に言えば、空気中に音符が浮かんでいるかのような、自分がモーツァルトになったかのような。

さて、私はいま山手線からほど近い私鉄沿線に住んでいる。朝の通勤中、家から駅までの間に、あのボルダーの小径を感じるわずか数メートルの空間がある。そこには川はなく、花もごくわずか、もちろんプレーリーはいないが（たまに散歩中のドッグには遭遇します）、それでもそこには確実にボルダーの小径の気配があるのだ（皆さん、そんな経験ありませんか？）。

唯一異なるのは景色の中からは音楽が湧きがってこないことである。仕方がないので歌を口ずさむ（こんな時マスクは便利）。持ち歌の少ない私は4半期ごとに1曲をほぼ3ヶ月間繰り返す。

（ここからはさらに年代限定）12月から2月にかけては稲垣潤一の「クリスマスキャロルの頃には ♪クリスマスキャロルが流れる頃には ♪」（毎年、クリスマス・イブと悩みます）、3月から5月にかけてはN.S.Pの「弥生つめたい風 ♪弥生の空 風が強くても 桜の花 風に散らないで ♪」

（中学生の頃、グループ名がニュー・サディスティック・ピンクだと知った時の衝撃は忘れません）、6月からはミスチルの「innocent world ♪物憂げな6月の雨に打たれて ♪」、そして今の時期はチューリップの「セプテンバー」である（竹内まりやではありません）。「♪September 9月になれば September ♪」。この曲だけは何かを思いだしたかのように1年中口ずさむことがある。

9月になれば、9月になれば、一年巡って来年の9月になれば、何かが起こる。何かが変わる。その何かは分からないけど、きっと。

余談ついでにまさに取って付けるが、コミュニケーションの仕事は、それぞれの9月を予感していただくことではないかと思ったりもする。

広報・PR実務講座 2021

「広報・PR実務講座 2021」後期開講のご案内

教育委員会

後期（2021 年 10 月～2022 年 3 月）に開講を予定している「広報・PR実務講座」の予定をご案内します。詳細と申込みの受付は、講座開講にあわせ協会 Web サイトの「広報・PR実務講座」ページで行います。開講時期が近づきましたら、下記 URL から講座ページをご覧ください。

<https://prsj.or.jp/learn-pr/>

■基礎コース（入門者向け）

●広報・PR入門Web講座

講座名	講座概要	開講時期	構成	方式
広報・PR入門 Web講座 （秋期）	秋期からの広報・PR業務の新任者が対象。パブリックリレーションズの基本をはじめとして、広報・PR業務に欠かせない最も基本的な知識、スキルをオンデマンドのWeb講座で習得する。	2021 年 10 月下旬	4 コース 11 講座	オンデマンド

■中級コース（3 年以上の経験者向け）

講座名	講座概要	開講時期	構成	方式
統合コミュニケーション集中講座	社会課題解決などに向けた PR 事例を解説し、これからの PR に求められる SNS アプローチの考え方、体制作りについて具体的に解説する。	2021 年 10 月中旬	60 分× 3 講座	オンデマンド
危機管理広報集中講座	企業等における緊急事態へ対処できるよう、広報・PR担当者に不可欠となる考え方や心構え、コミュニケーション施策の立案やメディアへの対応法など、危機管理広報の基本について習得する	2021 年 12 月		
デジタル PR 集中講座	デジタルの最新トレンドを踏まえて実践的な「デジタルPR」を紐解くことを目的とし、デジタルをフルに活用するための戦略、計画における細部の工夫、情報拡散の経路などについて多彩な事例を通じて学ぶ。	2022 年 3 月		

●広報・PRスキルアップ実践講座

講座テーマ	講座概要	開講時期	構成	方式
コーポレート・コミュニケーション	「パーパス」の実現としての事業を通じてさまざまな課題の解決をめざす総合化学会社をとり上げ、「パーパス」に基づくサステナビリティ経営の概要とそれに寄与する広報活動を具体的に解説する。	2021 年 10 月 12 日(火)～ 11 月 29 日(月)	各 60 分	オンデマンド
リサーチ & PRプランニング	PR活動のプランニングに不可欠となるリサーチの考え方と方法について、具体的な事例を通じてそのポイントを学ぶ。	2021 年 11 月上旬		
マーケティング PR	商品の販売や市場における普及を目的とするマーケティングPRについて、効果を上げる新しい考え方や手法、計画の立案法などについて、理論やケーススタディを通じてそのポイントを習得する。	2021 年 12 月		
デジタル危機管理	デジタル化を背景に発生する緊急事態において、広報・PR担当者に求められる考え方や心構え、危機管理施策の立案やメディアへの対処法などの基本について、理論やケーススタディを通じて習得する。	2022 年 1 月		
企業文化醸成	経営理念の浸透、企業文化の醸成などを目的とするインターナル・コミュニケーションについて、その経営的な意味や役割、戦略及び施策の立案などのポイントを理論やケーススタディを通じて習得する。	2022 年 2 月		
インターナル・コミュニケーション	デジタル化した現在のコミュニケーション環境の現状や特性を理解するとともに、これからのPRプランニングの考え方や実務においてデジタルを活用するポイントを講義と演習を通じて習得する。	2022 年 3 月		

■広報・PR管理職講座

講座名	講座概要	開講時期	構成	方式
広報・PR チームリーダー講座	広報・PRにおけるマネジメント業務の入門講座。マネージャーとしての心得や考え方、チームマネジメントの基本、広報人材の育成などの基礎を学ぶ。	2021 年 10 月 下旬	・60 分 X 3 講座 ・受講者 懇話会	オンデマンド (一部 ライブ)
新任広報部長講座	新任の広報部長や広報担当役員などの上級管理職を対象として特化し開講する。上級管理職として就任後の悩みを共有し、講師とともに解決策を探ることをコンセプトとする。	2021 年 11 月	60 分 X 3 講座	オンデマンド

■PRプランナー試験対策講座

講座名	講座概要	開講時期	構成	方式
1 次試験対策講座	広報・PRの幅広い内容を平易に解説し、1 次試験の合格に必要な知識の習得をめざす講座。ネットを活用したオンデマンド方式で開講。	通年 (改訂期間を除く)	全 15 講座	オンデマンド
2 次試験対策講座	広報・PRにかかわる専門分野を平易に解説し、2 次試験の合格に必要な知識の習得をはかる講座。ネットを活用したオンデマンド方式で開講。		全 14 講座	
3 次試験対策講座	広報・PRの計画作成の基本、広報・PR計画の立案作成(マーケティング及びコーポレート)、ニュースリリースについて、講義と演習を通じて合格に必要な知識とスキルを習得する試験対策の実践講座。ネットを活用したオンデマンド方式で開講。コース別受講可。		3コース 7 講座	

■PRSJセミナー

●事例セミナー

講座名	セミナー概要	開講時期	構成	方式
PRアワード 受賞事例公開 セミナー	「PRアワードグランプリ」の顕彰事例を紹介する。実務者一般、研究者、学生を対象に、成功したプロジェクト事例について講演と質疑、さらに審査員メンバーによるトークセッションを通じて、企画アイデアや推進の考え方、工夫等を学ぶ。ライブで視聴するオンラインセミナー。	2022 年 2 月	150 分	ライブ

●新春企画

講座名	セミナー概要	開講時期	構成	方式
新春 PR シンポジウム	新しい年の国内外の情勢を予測するテーマやPRに関する重要なテーマを設定し、テーマに知見の強い著名な講師によって、様々な角度から問題を掘り下げる。特別講演もしくはパネルディスカッションで構成の予定。	2022 年 1 月下旬	未定	ライブ

※上記は 2021 年 10 月現在の予定であり、変更の可能性があります。受講にあたっては、協会 Web サイトの講座ページを必ずご確認ください。

(事務局・真部)

広報・PR実務講座 2021

広報・PRスキルアップ実践講座①「コーポレート・コミュニケーション」 「サステナビリティ経営を支える広報活動」を開講

教 育 委 員 会

協会では、今年度の「広報・PRスキルアップ実践講座」第1回として、「コーポレート・コミュニケーション」をテーマとする講座「サステナビリティ経営を支える広報活動～パーパス（企業目的）の実現に寄与する BASF の取り組み～」を10月12日から開講します。

貧困、紛争、気候変動、感染症・・・、人類の前に立ち塞がるさまざまな課題を整理しその解決を通じて持続可能な世界の実現をめざすSDGs（Sustainable Development Goals）が国連サミットで採択されたのが2015年9月。以降、7年にわたり、多くの国々や機関、企業・団体で17のゴールの実現に向けた取り組みが世界で進められています。

最近では、社会における会社の存在意義を意味する「パーパス」の実現を通じて、SDGsで掲げられているさまざまな課題の解決をめざし、持続可能な世界の実現を指向する企業も多くみられる時代となりました。

ドイツに本社を置く世界有数の総合化学会社 BASF もその一社です。1865年にドイツで創業、日本においても70年を超える歴史を誇る同社は、パーパスとして「We create chemistry for a sustainable future（私たちは持続可能な将来のために、化学でいい関係をつくります。）」を掲げ、持続可能な世界の実現をめざして「サステナビリティ経営」を積極的に進めています。

この経営の根幹となるパーパスの実現に向けて顧客や協力会社、従業員などステークホルダーとより良い関係を構築していくには、事業をはじめとする会社のさまざまな取り組みを人々に的確に伝え、共感を得ることが求められことから、経営を支援するコミュニケーション活動が重要な役割を果たします。同社では、サステナビリティ経営を通じてパーパスの実現に寄与する広報活動が、本国ドイツだけでなくわが国も含めてグローバルに展開されているのです。

本講座では、日本法人である BASF ジャパン株式会社のコミュニケーションズ部長 藤本朋子氏を講師としてお招きし、同社のパーパスに基づくサステナビリティ経営の概要とそれに寄与する広報活動をご紹介します。特に広報活動については、その役割や考え方、社内外のステークホルダーを対象に進められる具体的な取り組みやポイントなどをお話しいたします。



グローバルなサステナビリティ経営の推進に貢献する広報活動について学ぶ本講座。多くのみなさまのご聴講をお待ちします。

講座の詳細ならびに申込みは、以下の協会 Web サイトをご覧ください。

<https://prs.j.or.jp/event/skillup-corporate2021/>

（事務局・真部）

広報・PR実務講座 2021

「統合コミュニケーション集中講座」を開講 ～社会課題の解決につながるPR活動のポイントを学ぶ～

教 育 委 員 会

協会は、社会課題の解決につながるPR活動のポイントを学ぶ「統合コミュニケーション集中講座」を10月中旬からオンライン開講します。

SDGsが社会の各方面に受け入れられ国や企業が社会課題に向き合う今、PRの世界でもコミュニケーションを通じて社会課題の解決に取り組む視点が求められる時代となりました。社会課題を捉えその解決をめざすことが、これからのPRを設計する重要ポイントとなっています。

新型コロナウイルスとの共存が求められる新しい日常では、既存の発想や手法にとどまらず、新たな視点から社会課題を読みとき抽出することが求められています。SNSをはじめとするデジタルプラットフォームやテレビ、新聞、さまざまなメディアにあらわれる「社会の風」を読み説き、そこから生まれる新たな視点を身に着けることが、課題に向き合うためには必要です。

また、コミュニケーションにおいても重要性を高めているデジタル。情報の収集や交換の一手法にとどまることなく、企画設計から実施、効果測定までPRのあらゆる側面でデジタルの活用が日進月歩で進んでいます。コミュニケーションを通じた課題の解決には、伝統的なメディアリレーションズやイベントなどにとどまらず、多彩なデジタル手法も統合的に活用する考え方や手法、また取組みにかかわる人々との強い絆と連携が不可欠となりました。

本講座では、「手口ニュートラル」なコミュニケーション手法の開発を通じて優れたトータルコミュニケーションを実現してきた博報堂ケトルと博報堂のメンバーをお招きし、社会課題の解決につながる統合コミュニケーションの事例、世代特性の理解に基づくPRアプローチの考え方やPRを効果的に進めるための体制作りのポイントについて、3つの講座を通じて解説します。

「社会の風」を読み説き、社会課題の解決につながるコミュニケーションを考える本講座。多くのPR関係者の受講をお待ちします。

講座の詳細、受講申込みは協会Webサイトの講座ページをご覧ください(10月中旬公開予定)。

<https://prsj.or.jp/event/integrated-com/>

■講座の概要

内 容	講座タイトル	講 師
講座1	「PR 発想からの社会課題解決」 &「社会と対話しながら、炎上リスクと向き合う」	(株)博報堂ケトル 村山佳奈女氏 (株)博報堂 肥塚縫伊子氏
講座2	「SNS から読み解く社会の風～GEN-Z、ミレニアル世代とエンゲージするポイント」	(株)博報堂ケトル 各和奈利氏
講座3	「巻き込むPR～社会の風を読むコミュニケーションの全体設計～」	(株)博報堂ケトル 皆川壮一郎氏

(事務局 真部)

広報・PR実務講座 2021

「広報・PR入門Web講座(秋期)」を開講

～今年度は4コース10講座による学びやすい構成～

教育委員会

協会では、秋期から新たに広報・PR業務に就く新任者を主な対象とし、基本的な知識、スキルを学ぶ「広報・PR入門Web講座(秋期)」を、10月下旬を目途にオンライン開講します。

春期に続いて開催する本講座は、パブリックリレーションズ、企業広報、マーケティングPRを学ぶ「広報・PR基礎」、SDGs、危機管理広報、広報関連法規を学ぶ「企業広報基礎」、デジタルPR、マスメディアとメディアリレーションズ、対人コミュニケーションを学ぶ「コミュニケーション実務基礎」そしてニュースリリース作成のポイントを習得する「広報・PR実務基礎」など実務の基本を学ぶ4つのコースで構成されています。各コースは最大3つの講座により構成されており、手軽な受講料で学びやすい講座となりました。講師には、広報・PRの実務専門家、弁護士、大手企業マネージャー等を迎え、日々の業務の実際に即した広報・PRを学ぶことが可能です。

講座の詳細ならびに受講申込みは、協会Webサイトの本講座の案内ページでご確認ください(10月中旬から公開予定)。今秋から新たに広報・PRに取り組む皆様の受講をお待ちします。

<https://prsj.or.jp/event/practical-course2021-entryclass-fall/>

■「広報・PR入門Web講座(秋期)」の概要

※講座のタイトルは仮題です。変更の可能性がありますので、必ずホームページでご確認ください。

コース	主な内容	講 師
コース A 広報・PR 基礎	パブリックリレーションズの基礎	(株)電通パブリックリレーションズ 阪井完二氏
	企業広報の目的・役割と活動の実際	(株)日立製作所 森田 将孝氏
	マーケティング・コミュニケーションの基本	(株)資生堂 梶浦砂織氏
コース B 企業広報 基礎	SDGs の基本と広報	オムロン(株) 井垣 勉氏
	危機管理広報の重要性と取組み	(株)エイレックス 小林洋子氏
	広報関連法規の基本	西村あさひ法律事務所 鈴木悠介氏
コース C コミュニケーション 実務基礎	デジタルコミュニケーションの基本	Z ホールディングス(株) 飯田真吾氏
	マスメディア概論とメディアリレーションズ実践	(株)マテリアル 田代順氏
	対人コミュニケーションの基本	(株)グローコム 岡本純子氏
コース D 広報・PR 実務基礎	ニュースリリースの基本と活用法	(株)共同通信 PR ワイヤー 西林祐美氏

(事務局 真部)

広報・PR実務講座 2021

「広報・PRチームリーダー講座」を初開講

～広報マネジメントの基本を学ぶ若手実務者向け新講座～

教 育 委 員 会

協会は、広報・PRの現場における少人数グループをまとめる立場にある若手実務者を主な対象として、広報マネジメントの基本を学ぶ「広報・PRチームリーダー講座」を10月下旬からオンライン開講します。以前から協会ではマネジメント研修として上級管理職の新任者を対象とする「新任広報部長講座」を開講していましたが、現場で活躍するチームリーダー・クラスのみなさまを対象とする講座の開講は、今回が初めてとなります。

本講座は、現場における少人数チームのリーダーから課長クラスに至る若手実務者を対象とし、広報業務におけるマネジメントの基本を学ぶ研修講座です。

講師には、大手企業から広報部門長クラスの方々をお迎えし、①広報の役割と可能性、現場リーダーとしての考え方や心構え、②経営からの期待や応え方、経営とのコミュニケーション、チームリーダーとしてなすべき仕事、③戦略的、計画的な広報活動の考え方と実際、などについて具体的な事例を交えながら学ぶ3つの講座で講座を構成します。また、広報の現場で実際に活躍されているチームリーダーをお招きし、自身の体験を踏まえたアドバイスなどもいただきます。

本講座の詳細ならびに受講については、10月中旬から協会Webサイトでご案内します。チームリーダーとして、現場で奮闘する皆さまのご聴講をお待ちします。

■開講日時：2020年10月下旬（予定）

■意見交換会日程：12月上旬（予定）

■受講資格：広報・PRに関連した業務を担うチームリーダー・クラスのみなさま

■プログラム

タイトル(仮)	ポイント	講 師
社内外広報の役割と可能性	・広報部門の役割 ・組織作りや人材育成 ・ヤフーにおける具体的な取組みとその要諦	Zホールディングス(株) 執行役員 広報・IR統括部 統括部長 伊東由理氏
広報現場のチームリーダーへの期待	・経営の期待に込えているか？ 込えるポイントとは？ ・チームリーダーがなすべきこと ・チームリーダーに思うこと、期待すること ・チームリーダーと経営のコミュニケーション	アサヒビール(株) 理事 営業本部 営業部 副部長 田中隆之氏 (前 (株)アサヒグループホールディングス 理事 コーポレートコミュニケーション 広報部門長)
広報業務の戦略的推進	・業務の計画的な遂行 ・プロジェクト/キャンペーンの戦略的推進 ・具体事例の紹介	ダイキン工業(株) コーポレートコミュニケーション室長 細見基志氏
広報チームリーダー懇話会		調整中

(事務局 真部)

【再掲】「PRアワードグランプリ 2021」エントリー受付中！ 10月26日(火)17:00が締め切り(必着)です

— 顕 彰 委 員 会 —

9月1日から「PRアワードグランプリ 2021」のエントリー受付を開始しております。最終締め切りは10月26日(火)17:00(必着)です。皆さまからのエントリー、心よりお待ちしております。

「PRアワードグランプリ 2021」募集概要

- ・後援 : 経済産業省、日本広報学会、公益社団法人 日本広報協会
- ・エントリー案件 : 最近1年間に成果があがった、企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動。(※過去にエントリーした案件であっても活動継続中であれば再度エントリー可)
- ・応募カテゴリー :
 - ☐ コーポレート・コミュニケーション
 - ☐ マーケティング・コミュニケーション
 - ☐ ソーシャルグッド
 - ☐ その他
- ・エントリー方法 : 「PRアワードグランプリ 2021」のエントリーフォームに必要事項を入力し、作成した既定のエントリーシートを添付して登録。
- ・エントリー料
 - ☐ 22,000円(税込) / 1エントリー(振込手数料別途)
 - ※2021年10月1日(金)～10月26日(火)17:00必着
- ・審査方法

審査員長のもと、9名の審査員で審査団を構成。審査員全員が議論形式の審査会を開催。カテゴリー横断で全エントリーに対し厳正な審査を行い、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞を決定いたします。なお、顕彰委員会及び審査団の協議により、上記の賞以外の表彰を行う場合もございます。

 1. 一次審査(11月上旬予定)

審査団が全エントリーを審査し、上位エントリー(10組程度)を決定いたします。
 2. グランプリ審査(11月下旬予定)

一次審査で決定した上位エントリー(10組程度)によるエントリー内容の説明(1組10分程度)と審査員からの質疑応答のセッションを実施し、全てのセッション終了後、「グランプリ」、「ゴールド」、「シルバー」各賞を決定いたします。審査終了後、審査結果をご担当者にメールにてご連絡いたします。
 3. 表彰式について

受賞エントリー(シルバー以上)については、12月14日(火)に実施される表彰式でプレゼンテーションしていただきます。

日時 : 2021年12月14日(火)12:30～16:00(予定)

※新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン配信などの形式で公開を検討中

※表彰式の詳細は、11月下旬にご担当者にメールでご案内いたします

※参考 協会 Web サイト : <https://prs.j.or.jp/pr-award/>

(事務局・依田)

会 員 限 定**第 37 回広報ゼミ「最強広報組織のつくりかた」第二弾開催レポート
若手PRパーソンの体験談
～組織への貢献、自身の成長と目指すキャリア～****企 業 部 会**

2021 年 7 月 14 日（水）16：00 より、リモート形式で第 37 回広報ゼミが開催され、広報キャリア 5 年未満の方々を中心に、74 名にご参加いただきました。
今回の広報ゼミは、新企画「最強広報組織のつくりかた」第二弾として、若手PRパーソンの体験談～組織への貢献、自身の成長と目指すキャリア～をテーマに、アサヒグループHD、NTTデータ、パナソニックより若手PRパーソンをお招きし、ご自身のキャリアについて語って頂きました。



正会員・個人会員限定

第215回定例研究会

**「日本経済新聞電子版」の
現在とこれから
～コンテンツとサービスの両輪で成長探る～**

講 師：日本経済新聞社東京本社
デジタル事業 デジタル編成ユニット 副ユニット長
野沢正憲氏

第 215 回定例研究会は、7 月 29 日（木）、オンラインで開催しました。講師は日本経済新聞社東京本社氏 デジタル事業 デジタル編成ユニット 副ユニット長 野沢正憲氏。テーマは「日本経済新聞電子版」の現在とこれから～コンテンツとサービスの両輪で成長探る～でした。

PRSJ in Media

● 9月1日（水） 『月刊広報会議』（宣伝会議）10月号

『月刊広報会議』10月号における当協会の連載コラムで、当協会が昨年から実施を中止していた「PRプランナー資格認定検定試験」3次試験を、全国のテストセンターで受験するC B T方式により11月に実施することが記事掲載されました。

記事ではまず今年の1次試験、2次試験の実施状況をはじめとして、11月に実施する3次試験の申込みスケジュール、各地に展開しているテストセンター会場、新しい試験方式の概要などについて紹介しています。また、今回の3次試験によって、協会が実施する1次から3次までのすべての試験がC B T化されることにも触れています。

● 9月1日（水） 「月刊ブレーン」（宣伝会議）10月号

『月刊ブレーン』10月号のコーナー「業界ニュース」において、当協会が「PRアワードグランプリ 2021」のエントリー募集を9月1日から開始することが報じられました。

記事では「PRアワードグランプリ 2021」の概要をはじめとして、審査体制、アワードのカテゴリーと各賞、昨年度グランプリの受賞エントリー、さらに今年度における審査スケジュールなどが紹介されています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいとおもいますので、
よろしくお願い致します。

広報員会

E メール mail@prsj.or.jp

F A X 03-5413-2147

※ 禁転載